

ヒヤリハット事例	説明
空荷の1Boxがスリップ	空荷状態で2WDの1Boxを運転していると、雨の日等にスリップする事があります。2WDでは、駆動輪である後輪には前輪の半分しか荷重がかかっておらず、得られる摩擦力が前輪の半分しかない事になります。特に坂道では路面垂直方向の荷重が減るので、タイヤから得られる摩擦力も小さくなり、タイヤが空転する事があります。雪の日は特に注意が必要です。
簡易貫入試験での指挟み	業界でよく聞く事故として、簡易貫入試験での指の挟まれがあります。落ちていてやれば指を挟むことなど無いと思いますが、つつい急いで作業をしてしまうのでしょうか。厚手の手袋を着用し、焦らずゆっくり作業する事が大切です。貫入試験器具を簡単に加工して、指が入らない構造にするのも良い事例だと思います。https://www.zenchiren.or.jp/e-Forum/2014/PDF/2014-082.pdf
農業用水管の管理者を誤解	農業用水管は、主管と枝管で管理者が異なる事があります。これを知らずに一つの管理者と協議を行っても、他方の管を見落とす可能性があります。農業用水管の照会を受けた際には念のために「他で管理している農水管はありませんか？」と聞くことをお勧めします。
農業用水管への接触	農業用水管は、取水口やバルブが地上に飛び出しています。このバルブ、草が繁茂していると見えないことが多く、車等を入れて接触させると簡単に損傷してしまいます。草が繁茂する春から秋は、農業用水が必要な季節と重なり、損傷させると農業への影響は図り知れません。車を侵入させる場合には、草を刈る等して駐車スペースの状態を確実に確認しましょう。
外したガードレールが落下	資機材搬入の際、ガードレールを一時的に撤去する事があります。外したガードレールですが、その重さは想像以上です。安易に外し、その重さに耐えきれなければ落として足や指が挟まれた場合、大けがになる恐れがあります。まずはガードレールが想像以上に重いという認識を持つ。その上で落下させない対策を取り、安全に作業を行いましょう。
ガードフェンスの転倒	ガードフェンスが倒れた事例を聞いたことがあります。紐等で緩く縛って外れたのかもしれませんが。屋内用ケーブルタイ等も使用期間が長いと簡単に切れるので注意して下さい。対策としては上下2箇所縛ったり、専用の固定金具を利用するのが良いかと思います。最上部をOリングで固定する方法もあります。台風接近等、強風が吹く前には特に対策が必要です。
熱中症（安全チョッキ）	安全チョッキの着用を義務付けられる現場が多いかと思います。夏に安全チョッキを着た場合、非常に暑くて熱中症になりそうです。ホームセンター等ではあまり見かけませんが、猛暑対応の安全チョッキが有ります。涼しいだけでなく、一般的なチョッキと比べて軽いのでオールシーズン快適に使えます。インターネットで買えますし、保安用品の専門店にて入手可能です。
自動車自損事故	工事現場では駐車スペースといえど周辺の状況は日々変化していきます。前日と同じ場所に同じように駐車し、用事を済ませ車を移動させた際、助手席側の低い位置に鉄柱の残骸があり接触、左側ドアは醜く凹み、余計な出費となりました。車を発進させる前に周囲の安全確認を行いましょう。
マンホール蓋破損	工場内などでは、車道以外にもマンホールがたくさんあります。車道以外のマンホールは車重に耐えられる設計になっていないことが多く、サビで脆くなっています。トラックなどを緑地帯に乗り入れマンホールの蓋に車輪がかかるとわれてしまいます。物損にとどまらず、運転者、合図者、第三者への人身事故にもつながりかねません。乗ることのない搬入ルートを検討をしまししょう。